

令和8年7月13日

高校生の発想と感性を生かし、ポイ捨てのない美しいまちへ ～「ポイ捨て禁止啓発看板デザイン」制作協力への感謝状贈呈～

ポイ捨てのない美しいまちづくりを推進するため、学校法人東稜学園福島東稜高等学校メディアデザインコースの生徒の皆さんに「ポイ捨て禁止啓発看板デザイン」の制作にご協力いただきました。

このたび、制作に参加した生徒の皆さんへの感謝の意を表するため、メディアデザインコース生徒代表へ福島市長名の感謝状を贈呈します。

なお、制作には同コース11名の生徒が参加し、学校で選定された3作品が市に提出されました。市では、そのデザインを基に啓発看板を制作し、市内各所へ設置する予定です。

記

- 1 日 時 令和8年7月14日（火）午後4時から
2 場 所 学校法人福島東稜学園福島東稜高等学校校長室（山居上3番地）
3 内 容

（1）次第

- ① 開会
- ② 出席者紹介
- ③ 感謝状贈呈
- ④ 作品紹介（制作者本人）
- ⑤ 市環境部長あいさつ
- ⑥ 学校長あいさつ
- ⑦ 記念撮影
- ⑧ 閉会

（2）出席者

- ・学校法人福島東稜学園福島東稜高等学校（8名）
校長、教頭、メディアデザインコース生徒3名 ほか
- ・福島市環境部（4名）
部長、次長 ほか

担当：環境衛生課 環境衛生係
課長 武藤 係長 渡辺
電話 024-573-2557（直通）

(別紙) 作品の紹介

①作品名：「ゴミのないわたしの通学路」



制作者：佐藤 咲弥 (さとう さや) さん

コンセプト

ターゲット：忙しいビジネスマンに、

コンセプト：朝の小さな幸せを伝えたい。



従来の「看板デザイン」

●ナッジ理論使用ポイント

ゴミ捨てる人を注意するのではなく、すでに感謝をされている立場を想像してもらう表現とした。

●高校生らしさのポイント

高校生にとって身近な通学路を題材にした。朝の通学路は、その日の気分を決める大切な時間であるため、ゴミそのものを描くのではなく、きれいな通学路を歩く気持ちよさに焦点を当てている。

②作品名：「まちも心も美しく」



制作者：宮崎 莉央奈 (みやざき りおな) さん

コンセプト

ターゲット：若者に、

コンセプト：ポイ捨てで落とすものはゴミだけではないことを伝えたい。

●ナッジ理論使用ポイント

プロスペクト理論で明らかになった。

得するよりも、損した時の苦痛の感情を強く感じるという心理をナッジのEASTのAttractive（魅力的）に活かした。

●高校生らしさのポイント

①ゴミ拾いしている人を高校生にした。

②手書き風フォントで高校生らしくした。

③袋の中に入っているハート（ゴミだけじゃない部分）には、私たちと動物の安全、美しいまち、ポイ捨てしない良い心の意味が込められている。

③作品名「シジュウカラのひとりごと」



制作者：遠藤 颯良 (えんどう そあら) さん

コンセプト

ターゲット：ふるさとを愛する人に、

コンセプト：いつもありがとうを伝えたい。

●ナッジ理論使用ポイント

強制ではなく、肯定的なセリフで誘導している。

●高校生らしさのポイント

一つのごみで、どれだけの人に見られるのか、そして環境にどのように影響が出るのかを表した。市街地を見おろす鳥の気持ちを考えた。

(ナッジ理論とは・・・) ナッジ理論とは、強制や金銭的なインセンティブに頼らず、人間の心理的な特性（行動経済学）を利用して、人々が自発的に「より良い選択」をするようにそっと後押しする手法。